

総合技術センター受変電設備設計業務（仮称）

参考見積条件

第 1 節 業務概要

本業務は、総合技術センターに設置している受変電設備、予備発電設備及び通信設備の更新・整備に必要な詳細設計を行い、経済的かつ合理的に工事発注資料（特記仕様書・図面・数量・概算額・施工計画等）を作成するために行うものである。

第 2 節 業務場所

総合技術センター 埼玉県さいたま市桜区大字神田 9 3 6

第 3 節 検討内容

詳細な設計内容は別紙-3 によるものとし、以下に特に必要な検討事項について記載する。

1. 総合技術センター本館の受変電設備の設計
 - 1) 受変電容量の削減検討
総合技術センター本館の負荷に含まれる実験設備について、一部廃止を検討しているため、容量の削減を含めた更新設計を行う。
 - 2) 一部低圧配線の劣化による絶縁低下が目立つ為、絶縁測定を行った上で配線の更新検討を行う。
2. 総合技術センター本館の予備発電設備の設計
 - 1) 現在予備発電設備は執務を行っている本館ではなく別館のサーバ室のみに供給を行っている為、本館へ供給が行えるように負荷回路を見直す。
 - 2) 見直すにあたり、現在の容量 100kVA を大きく超えることなく、燃料小出槽のタンク容量 990L は維持したまま 72 時間以上の稼働を確保できるよう、負荷供給範囲を取捨選択する。
 - 3) 別途通信設備用として設置している予備発電機との統合を検討する。
3. 総合技術センターの代替回線の設計
 - 1) 総合技術センターの多重無線設備並びに通信鉄塔を撤去する予定であるため、代替回線について回線設計を行う。経済性・合理性に配慮しつつ、事業者回線の 2 重化、FWA による延伸、衛星事業者回線の設置等を検討する。
 - 2) 既設回線との接続に伴う現行 NW 機器への影響と設計方法について検討する。
 - 3) 無線による検討を行う場合は、対向局との見通し、通信の疎通まで含めて検討事項とする。